

分苑たより

なごみ

大本
名古屋分苑

道の極致

すべてのものにリズムがある。そして、われわれは知らず知らずの間に、このリズムに乘ろう乗ろうとしている。だからわれわれが、真に純な気持でおりさえすれば、われわれの行為は、さしたる努力とか苦痛とかいうほどのこともなくして、自然に天地の大道に合わしているのである。これが道の極致であつて、せまい人間的理智から割出して、あれやこれやと計算的にコセつきまわるのは、いまだ惟神のいかなるものであるかを解せないものである。

何事にせよ、もつとも平安にして、しかも幸福の大なる時は、われわれの行為が天地のリズムに乗っている時である。

(信仰覚書 第八巻)

行事報告

●月始祭

七月三日(土)

参拝者 十五名

斎主 妹尾 正治

祭員 影近 博己

進行 伊藤久仁男



●月次祭

七月十八日(日)

参拝者名 二十八名

斎主 山田 謙三

祭員 畠山 茂

祭員 高嶋 善雄

祭員 飯田 直美

祭員 長谷川 美枝

進行 青山 将士



●総代会

月次祭終了後に開催され、次期役員が次のように承認された。

代表責任役員・分苑長

みなと会合所

高嶋 善雄

参事・次長・総務部長

津島支部 瓜生秀明

参事・財務部長

名北支部 近藤哲史

参事・祭務部長

津島支部 飯田和彦

参事 宣教部長

城北分所 川地貴子

●草引き献勞作業

担当 名北支部、名古屋東支部、半田支部、熱田支部、神ノ倉分所

妹尾正治さんの参加

もいただき、七月二十二日(木) 海津市の松植樹地で、朝八時四十分から十一時十分まで約二時間半、草刈り、草引き作業を行った。

草刈機三台での全体の草刈、植樹した松の苗周辺の草引きを行った。うだる様な暑さの中、皆で懸命に作業を行い予定の作業を完了することができた。

途中休憩では、伊藤さんに持参していただいた、ポカリスエット、



お茶が大変冷たく冷えていて、大変おいしかったです。これで息を吹き返すことができました。一部の松の苗周辺には、刈った草を敷き詰めて次の草が生えにくいようにしておいた。松は順調に育っており、今後の成長が期待される。

参加者は、妹尾正治 石原松生 伊藤久仁男 森満政 石田和歌子 山田美智子 山田謙三の七名

山田謙三 報

環境問題を考える その②

特任宣伝使 妹尾 正治

今回は、微生物についてお話しをさせて頂きます。

微生物は大きくは、細菌（バクテリア）・菌類・原生動物に分類されます。そのいずれも人間を含め、動植物の生命維持に大きく関わっており、

必要不可欠の存在です。土壌（肥沃な土）1グラムの中には約一〇〇億個の微生物がいます。有機物を分解して植物の栄養素に還元したり、空气中の窒素をアンモニア態窒素に変換して植物に与えています。私たちの腸の中には千種類百兆個の細菌が生息しています。土壌微生物の働きと同様に、

飲食物を分解して吸収しやすいエネルギー源に変換して生命維持の基になっています。菌類はカビとか腐食のイメージがあります。もちろん間違いいでは有りませんが、ヨーグルトなどは乳酸菌の働きで作られますし、大好きなアルコールは酵母菌で作られます、お酢・味噌・醤油など、私たちは菌類の発酵作用によ

り作り出される食品を毎日口にしています。最近、除菌、抗菌をよく耳にしますが、〇157大腸菌とかボツリヌス菌などは極少数の悪玉菌です、ほとんどの微生物は私たちの仲間であり恩人？です、仲良くお付き合い願います。

温室効果ガス削減にも今、原生動物のミドリムシが注目されています。ミドリムシはCO2を吸収し、体の3割が油分です、その油分を精製してバイオ燃料にしようと商業プラントが立ち上がりました。益々微生物さま様ですね。今回は「生命の誕生と微生物」についてお話しさせて頂きます。

行事予定
八月十五日（日）
月次祭 午前十時半より
八月二十八日（土）
宣伝使辞令・み手代下付式 午後一時より
八月二十九日（日）
分所・支部長・役員研修会 午後一時より
九月四日（土）
月始祭 午後一時半より

『李登輝、日本を愛しぬいた稀代の政治家』前編

山田謙三

自らを「私は日本精神によって純粹培養された日本人だ」とし、正々堂々と人生を生き抜き、台湾の自由化に尽くした稀代の政治家、李登輝。

李登輝は『戦後の自虐史観により、かけがえのない日本精神がすべて否定され、日本人が価値観を百八十度変えてしまったことを非常に残念に思う。日本精神とは、勇気、誠実、勤勉、奉公、自己犠牲、責任感、清潔といった諸々の美点をさすものであり、日本人はこの日本精神を失ってはいけない。そのためには、日本人はもっと自信を持って、かつて武士道という不文律を築き上げてきた民族の血を引いていることを誇るべきである。武士道、大和魂の高い精神は、実践躬行、公の心、秩序、名誉、勇気、潔さ、惻隠の情、正義、誠、仁、忠義など、人類最高の指導理念である。』と喝破している。

私は、李登輝は、今の日本人が忘れてしまった日本の精神を最もしっかりと受け継いだリーダーであり、現代の世界でも最高のリーダーであると思う。

以下、日本を愛しぬいた稀代の政治家の魂を震わせる永久不滅の言葉、人生の心得を紹介したい。李登輝の最高指導者の条件

①指導者の第一条件は、孤独を支える信仰を持つこと、精神的な弱さは高い次元の存在を必要とする。

②善政のための死生観、よりよく生きるためには死後の世界をすること。

③自我を否定した先に開かれる生の肯定。「自己のなかに神を宿す」ことである。深い愛で他者を許す神を宿すことによつて、自己中心的な自我が消え、他者を思う心が生まれる。「私ではない私」自我を否定した澄んだ心。

④平常心と責任感（名誉や慾は思わず）

⑤公義の精神（指導者に最も求められるもの）公義とは正義のことである。公義に殉ずる心構えが概があつてこそ、真のリーダーシップを発揮しうる。私利私欲から離れ、全体の幸福のために尽くすことである。ただ「国のため、国民のため」ということであつた。権力に執着したことはない。政治的野心はなにも持っていない。

⑥公明正大、公私の別をはっきりさせること。厳正な姿勢で臨まねばならない。

以降⑦～⑰は次回の後編に続く